

第67期 事業報告書

2025年4月1日～2026年3月31日



YAKINIKUSAKAI
HOLDINGS

株式会社焼肉坂井ホールディングス

証券コード 2694



持続的成長に向けた新たなステージへ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご支援とご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

第67期は、代表就任3期目を迎え、当社の成長戦略をより一層加速させる重要な一年となりました。これまで進めてまいりましたリブランディングの取り組みに加え、日常食業態における出店を積極的に推進し、安定的な収益基盤の構築に取り組んでまいりました。

第67期の連結経営成績は、売上高242億49百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益1億57百万円（前年同期比66.4%減）、経常利益2億43百万円（前年同期比43.3%減）、親会社株主に帰属する当期純損失につきましては4億18百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失6億13百万円）となりました。寿司事業および日常食・ファーストフード事業における新規出店効果等により売上高は前年を上回ったものの、原材料価格や人件費等の高騰が想定を上回って継続したことにより、利益面では厳しい結果となりました。そのような環境下においても、当社は売上の伸長を確保するとともに、リブランディングの推進や新規出店、海外展開など、次なる成長に向けた基盤づくりを着

実に進めております。

また、海外展開においては、フランチャイズ（FC）モデルを軸に出店を加速し、インドネシアにて「平禄寿司」および居酒屋「村さ来」を出店、中国では「手のひら食パン うさぎの杜ベーカリー」を7店舗展開するなど、グローバル市場における当社ブランドの浸透を進めております。

今後も、ブランド価値の向上と事業ポートフォリオの最適化を通じて、持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
高橋 仁志

At a Glance —数字で見る焼肉坂井ホールディングス—

売上高



24,249百万円

店舗数（国内、海外）



448店舗
（国内430、海外18）

ブランド数



62ブランド

株主数



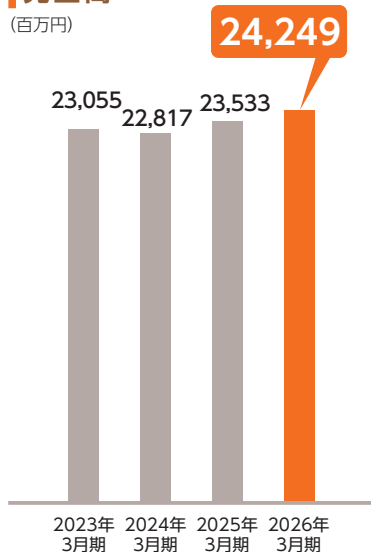
47,288名

（2026年3月末現在）

財務ハイライト

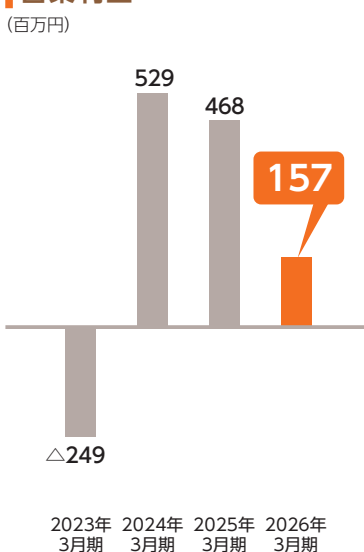
売上高

(百万円)



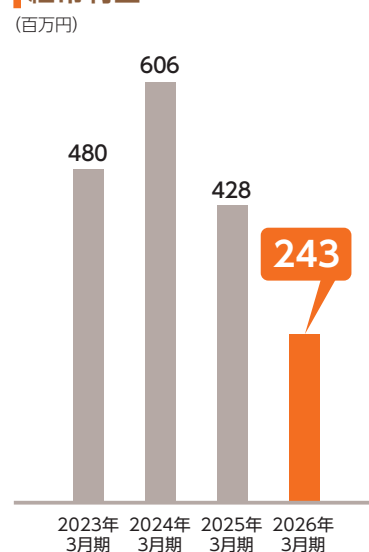
営業利益

(百万円)



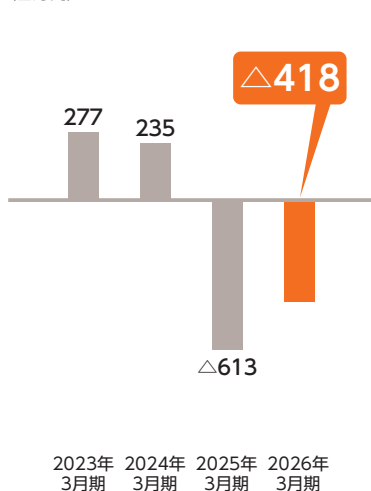
経常利益

(百万円)



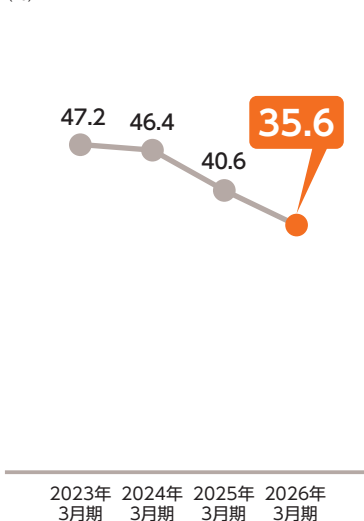
親会社株主に帰属する 当期純利益

(百万円)



自己資本比率

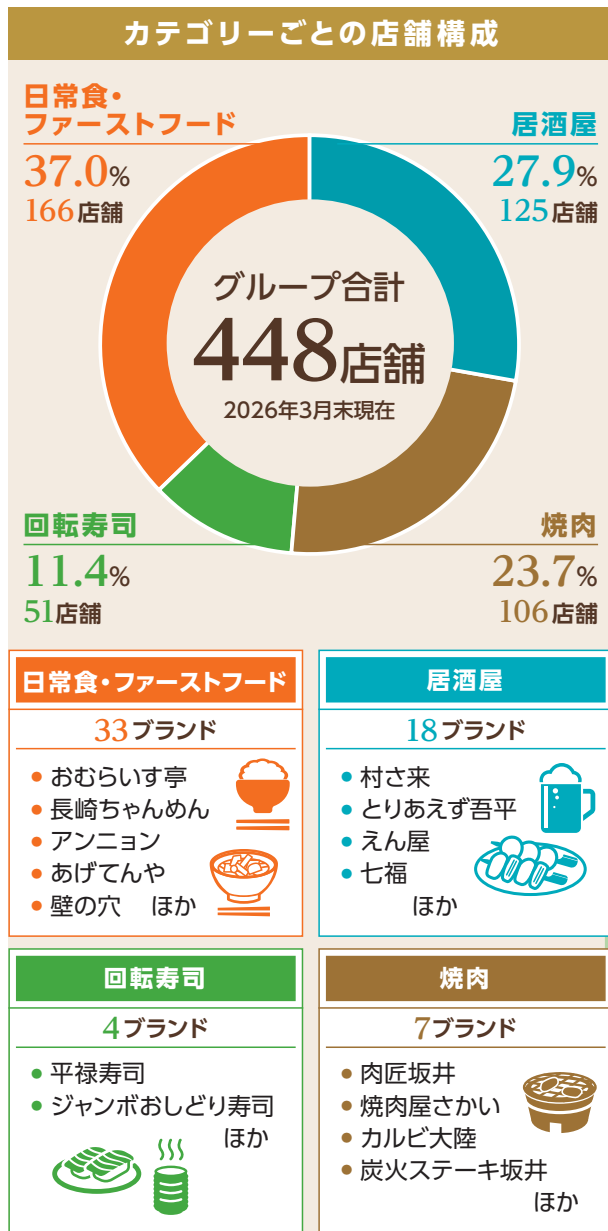
(%)



決算のポイント

第67期は、寿司事業および日常食・ファーストフード事業における新規出店効果等により、売上高は242億49百万円（前年同期比3.0%増）と増収となりました。一方で、原材料価格や人件費等の高騰が継続し、営業利益は1億57百万円、経常利益は2億43百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純損失は4億18百万円となりましたが、リブランディングや新規出店、海外展開など、次なる成長に向けた基盤づくりを着実に推進いたしました。特に日常食業態と海外事業は堅調に推移しております。

成長を加速するブランド戦略



成長ドライバー①

日常食×ブランド戦略

おむらいす亭、長崎ちゃんめん、アンニョン、あげてんや



当社の成長を支える柱として、日常食業態の強化に取り組んでおります。各ブランドにおいてリブランディングを推進し、顧客層の拡大とブランド価値の向上を図りました。

「長崎ちゃんめん」は、麺中華レストランとして再定義し、ファミリー層を取り込めるメニューラインナップへ刷新いたしました。また、「おむらいす亭」は「洋メシおむらいす亭」としてブランド化を進めるとともに、公式アプリの導入やSNS戦略を加速し、顧客接点の強化を図っております。福袋企画においては、前年比120%となる4,000個を完売するなど、販売施策も好調に推移いたしました。さらに、「アンニョン」や「あげてんや」においてもリニューアルおよび新規出店を進め、当期はブランドオープン・リニューアルを含め9店舗を展開するなど、着実に事業規模を拡大しております。今後も日常的に選ばれるブランドづくりを通じて、安定的な成長基盤の構築を進めてまいります。



成長ドライバー②

リブランディング×DX×旗艦店戦略

1 「RINKU FOOD PARK」 全面リニューアル ～byタケモトフーズ



当社グループ会社である株式会社タケモトフーズは、大阪府泉佐野市にある、りんくうプレミアム・アウトレット内のフードコート进行全面リニューアルし、「RINKU FOOD PARK」として新たにグランドオープンいたしました。開業25周年の節目にあたり、従来の「ワールドグルメジャンクション」から進化し、スイーツ、オムライス、ラーメン、天ぷらなど多彩なジャンルを取り揃えた“新・食の楽園”として生まれ変わりました。

本施設では、当社の主力ブランドである「洋メシ おむらひ亭」「アンニョン」「あげてんや」「壁の穴」などを含む全8ブランドを展開し、513席の大型フードコートとして、幅広い顧客ニーズに対応しております。

インバウンド需要の回復や大阪エリアへの注目度の高まりを背景に、国内外の多様な来場者に対し、日本の食文化を発信する拠点として位置づけており、当社のブランド力向上と収益機会拡大の担う重要な取り組みとなっております。



2 焼肉業態の進化



焼肉業態では、顧客接点の強化を目的に「肉匠坂井」公式アプリをリリースいたしました。順調に登録者数を伸ばし、1年余りで登録者数11万人を突破しております。クーポン配信やフェアメニューなどのお知らせを通じてリピーター獲得を推進するとともに、SNS運用も強化し、情報発信の活性化によるブランド認知向上と新規顧客獲得につなげております。また、焼肉業態初の取り組みとして、「焼肉屋さかい」「肉匠坂井」それぞれのブランドにて、今年メディア試食会を開催するなど、広報戦略の強化にも取り組んでおります。



3 平禄寿司 銀座店オープン・海外展開



回転寿司ブランド「平禄寿司」では、国内旗艦店となる「銀座店」を2025年10月17日にオープンいたしました。フォアグラ、ドラゴンロール、カリフォルニアロールなど、インバウンド客を意識したバラエティ豊かなメニューを展開し、銀座という立地に合わせシャンパンなどのアルコールメニューも充実させております。また、「平禄寿司」ブランドにて海外加盟店が4店舗出店したことにより、ロイヤリティ収入も増加しております。



特集 | 成長を支える基盤 海外×人材

サステナビリティの取り組み

外国人社員育成

当社では、持続的な成長を支える重要な基盤として、外国人社員の採用・育成に積極的に取り組んでおります。当期は47名の外国人社員を採用し、在籍外国人数は182名となりました。主要国籍はミャンマー、ベトナム、インドネシアであり、各国の多様な人材が全国の店舗で活躍しております。

一方で、外食分野における特定技能1号外国人の受け入れ上限に達したことにより、2026年4月から新規受け入れ停止という逆風も生じております。そのような環境下だからこそ、現在在籍している外国人社員への教育・サポート体制の強化が、これまで以上に重要であると考えております。

当社では、日本語教育や接客研修に加え、店長とのコミュニケーション支援や生活面でのフォローも継続的に



実施しております。また、より高いポジションで活躍できる人材育成を目指し、将来的な店長・副店長候補としての育成にも注力しております。今後も、多様な人材が安心して成長できる環境づくりを通じて、持続的な企業成長につなげてまいります。

海外展開の加速

平禄寿司・村さ来・うさぎの杜ベーカリー

当社では、フランチャイズ(FC)展開を軸に海外出店を加速しております。当期は「平禄寿司」が中国2店舗、台湾1店舗、インドネシア1店舗の計4店舗を出店いたしました。また、居酒屋業態としては初となる「村さ来」のインドネシア出店を実現し、日本の居酒屋文化の海外展開

を進めております。さらに、「手のひら食パン うさぎの杜ベーカリー」は、強力なFCオーナーとの連携により、中国で7店舗を展開いたしました。今年は、好調な「平禄寿司」において、アメリカでの出店(FC)も計画しており、グローバル市場でのブランド価値向上を目指してまいります。



会社概要・株式の状況

会社概要

(2026年3月31日現在)

商号 株式会社焼肉坂井ホールディングス
 会社設立 1959年11月25日
 資本金 100百万円
 事業内容 外食事業及びフランチャイズ事業

株式の状況

(2026年3月31日現在)

発行可能株式総数…………… 673,477,576株
 発行済株式の総数…………… 239,866,162株
 株主数…………… 47,288名

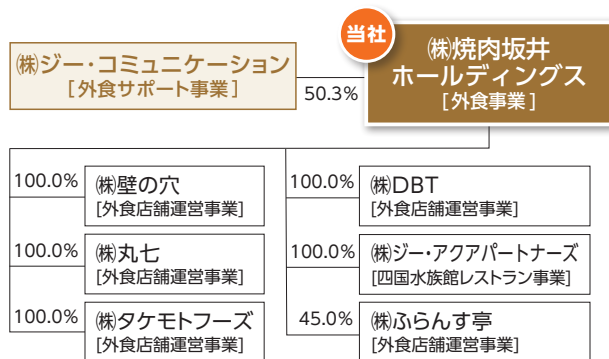
役員・執行役員

(2026年3月31日現在)

代表取締役	杉本 英雄	上級執行役員	漆間 公一
代表取締役	高橋 仁志	上級執行役員	真弓 陽平
取締役	稲吉 史泰	上級執行役員	平野 泰正
取締役	山下 淳	執行役員	永野 義和
取締役	畑中 裕	執行役員	須原 啓司
取締役	星谷 哲男	監査役	間宮 友久
		監査役	佐藤加代子
		監査役	小林 明夫

グループ組織図

(2026年3月31日現在)



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 3月31日
 配当金の基準日 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
 その他必要があるときは、
 あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目3番3号
 みずほ信託銀行株式会社

株主名簿管理人
 事務取扱場所 東京都千代田区丸の内1丁目3番3号
 みずほ信託銀行株式会社
 本店証券代行部

郵便物送付先 〒168-8507
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社
 証券代行部

電話照会先 ☎0120-288-324

ホームページアドレス <https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>

公告方法 下記ホームページに掲載いたします。
<https://ys-holdings.co.jp/>

上場金融商品取引所 株式会社 東京証券取引所

ホームページのご案内

IR・決算情報は「IR情報」で公開しています。
 ぜひご覧ください。



<https://ys-holdings.co.jp/ir/>

株主優待制度のご案内

詳しくはホームページをご覧ください

<https://ys-holdings.co.jp/ir/ir-yutai/>



株主優待

年2回

3月末、9月末

株主様に

割当基準日において株主名簿に記載された株主の皆様に対し、下記内容にて贈呈いたします。



割当基準日	3月末日	9月末日
贈呈時期	2026年7月上旬まで	2026年12月上旬まで
100株以上、1,000株未満の株主様	10%割引券 2枚	10%割引券 2枚
1,000株以上、2,000株未満の株主様	1,000円分の株主優待券、10%割引券 2枚	500円分の株主優待券、10%割引券 2枚
2,000株以上、5,000株未満の株主様	2,000円分の株主優待券、15%割引券 2枚	1,500円分の株主優待券、15%割引券 2枚
5,000株以上、10,000株未満の株主様	4,000円分の株主優待券、15%割引券 2枚	3,000円分の株主優待券、15%割引券 2枚
10,000株以上、20,000株未満の株主様	8,000円分の株主優待券、15%割引券 2枚	6,000円分の株主優待券、15%割引券 2枚
20,000株以上、30,000株未満の株主様	9,500円分の株主優待券、15%割引券 2枚 20,000円分の特別株主優待券	6,500円分の株主優待券、15%割引券 2枚
30,000株以上、40,000株未満の株主様	11,000円分の株主優待券、15%割引券 2枚 25,000円分の特別株主優待券	7,000円分の株主優待券、15%割引券 2枚
40,000株以上、50,000株未満の株主様	12,500円分の株主優待券、15%割引券 2枚 30,000円分の特別株主優待券	10,000円分の株主優待券、15%割引券 2枚
50,000株以上、60,000株未満の株主様	14,000円分の株主優待券、15%割引券 2枚 35,000円分の特別株主優待券	12,000円分の株主優待券、15%割引券 2枚
60,000株以上の株主様	15,000円分の株主優待券、15%割引券 2枚 40,000円分の特別株主優待券	15,000円分の株主優待券、15%割引券 2枚

上記に加え、長期継続保有の株主優待	割当基準日：3月末日 贈呈時期：2026年7月上旬まで	
保有継続期間2年以上5年未満	2,000株以上20,000株未満	500円分の株主優待券
	20,000株以上	500円分の株主優待券、5,000円分の特別株主優待券
保有継続期間5年以上	2,000株以上20,000株未満	1,500円分の株主優待券
	20,000株以上50,000株未満	1,500円分の株主優待券、10,000円分の特別株主優待券
	50,000株以上60,000株未満	1,000円分の株主優待券、10,000円分の特別株主優待券
	60,000株以上	1,500円分の株主優待券、10,000円分の特別株主優待券

※ジー・コミュニケーショングループの店舗でご利用可能です。なお、店舗・業態によってはご利用できない場合がございますので、「ご利用店舗一覧」及び弊社ホームページにてご確認ください。



〒462-0841 愛知県名古屋市中区黒川本通2-46
電話：052-910-1729 (代表)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

